

企業名

(株)クロコアートファクトリー

代表者名

徳田 吉泰

設立年月日

平成8年11月1日

資本金

1,000万円

従業員数

4名

所在地

〒252-0153

相模原市緑区根小屋2539-1

TEL. 042-780-1440

FAX. 042-780-1446

<http://www.crocoart-factory.co.jp/>post@crocoart-factory.co.jp

事業テーマ

軽量ハウス型トレーラー
における重量性記載対応
フレーム接合締結技術の
開発



デザイナー出身の 徳田 吉泰 社長

トレーラーハウス による製品用途拡大

ものづくり 補助金を使う 取組みのきっかけ

けん引免許のいらない750キロ以下のトレーラーハウス「ルーメット」の設計から製造を手がけています。

トレーラーハウスは日本だと「キャンブ用」のイメージが強いですが、実際にはさまざまな用途があります。移動販売はもちろん、子供部屋とか、物置代わりや、ホテルの一室として使うこともあります。中にはパソコン教室として使いたいという方がいて、実際に海の方までルーメットをけん引していきパソコン教室を開いてらっしゃいました。

近年、お客様の用途に応じてトレーラーハウスの中にエアコンを入れたり、断熱材を使ったりなどの内装を手掛けることが増え、重量が1トンを超えるものも出てきました。そうすると既存の商品では対応できず、より強度の高いフレーム接合締結の技術や治具が必要になり、自社開発するために補助金申請を行いました。ものづくり補助金の存在を知ったのは、さがみはら産業創造センターにお世話になるようになって「こういう制度があるよ」と紹介してもらいました。申請書類はすべて自分で作成しました。とにかく自分のやりたいことを淡々と書いてら通った、という感じです。

補助金を通して 取り組んだ 内容とその効果

「ルーメット」の車体で使用するフレームは三次元曲線をえがくので、一般的に機械屋で加工する工作機械が使えません。既存のものが使えないなら自分でゼロから作るしかない。なおかつ車は必ず走行中に左右にねじれるので、耐性も強くなければいけない。強くて軽量なものを開発するってけっこう難しいのです。補助金のおかげで開発費に余裕ができ、試行錯誤しながらじっくり落ち着いて取り組めたのが本当に良かったです。

開発中は自分たちの普段の仕事をストップしているの、入ってくるお金はないけど、出て行くお金はある。普通なら焦りますよね。

その点、気持ちに余裕を持って一つずつ取り組むことで、途中で難題にぶつかっても、落ち着いて対処することができたのが良かったです。

販売促進の手 法について

国内のトレーラーショーなどに出展すると、毎回メディアに取材されます。理由は小型でデザイン性の高いトレーラーが珍しいから。アウトドア誌はもちろん、車雑誌やライフスタイル誌など幅広いジャンルの媒体に取材されたことで、問い合わせが増えていきます。デモカーを2台用意して、貸し出しもしています。東京・表参道にある「COMMUNE246」というコミュニティスペースに常設していて、そこから問い合わせをいただくこともあります。たくさんの人にトレーラーハウスを身近に感じてもらい、幅広い使い

の実施、1 件以上の販売実績

のフレーム強化技術開発に

丸みをおびたデザインが特徴のトレーラーハウス「ルーメット」。
耐久性に優れ、自動車税や保険など維持費がリーズナブルなことから、
様々な用途での問い合わせが増えている。



▲いちごの販売用にラッピングしたルーメット。宣伝効果も大

道があることを知ってもらいたいですね。

今後の課題と展望について

おかげさまで「ルーメット」の反響は良く、当初の計画通り進んでいます。デザイン的には10年、20年と長く使えるように作っているのでも、モデルチェンジよりもバージョンを増やしたり、今より効率よく作る方法を考えてコストを削減するなどに引き続き取り組んでいきたいです。海外に比べると日本のトレーラーハウスのマーケットはまだまだ小さい。理由は価格が高いから。もっと価格が下がらないと、需要が広がらないと感じています。コストダウンするには数を売らないといけません。そのためにトレーラーハウスの様々な使い道を発信していきたいです。日本ではどうしても「キャンプ」のイメージが強いのですが、実際はそ

う頻繁にキャンプなんて行きませんから（笑）海外ではたくさんの方が生活の一部として使っています。ホームセンターの駐車場にいっぱいトレーラーが停まっていて、女性も普通に運転していますし、大きいものを運んだり、物置代わりに使ったりしています。日本だと大工さんが材木を運ぶ車の代わりや、家の敷地にたてる物置の代わりとしてルーメットを提案できれば、一気にマーケットは広がると確信しています。

企業概要

けん引免許を必要としない750キロ以下のトレーラーハウス「ルーメット」シリーズを製造・販売する。デザイン性の高さや、効率的な設計、耐久性に優れた素材開発が強み。国内外の大手自動車メーカーの車のデザインを手がけてきたノウハウを生かし、様々な用途に応じたトレーラーハウスを設計・開発している。

現在、全長約3700mm、横幅1860mmの従来製品より小型のトレーラーハウスも開発中。ロートアイアンを使ったオリジナルネームプレートや門扉、手すりなどエクステリア製品の製造・販売も行う。相模原に製造工場、横浜 元町にてインテリア用品のショップを運営している。



▲軽量かつ頑丈なルーメット